



島根県社協

暖だより

DANDAN DAYORI

人・そだて
人・ともに
人・くらす
わが島根づくり
まち

島根県社会福祉協議会(県社協)は県全体をひとつの「まち」ととらえ、ここで暮らす一人ひとりを大切に、福祉の人材育成や子育て支援、地域住民や団体同士のネットワークづくり、そして住民が支え合いながら安心して暮らせる地域づくりを推進するために、さまざまな活動を行っています。その活動のいくつかをここで紹介しましょう。

誰もが役割をもってつながる「地域共生社会」の実現へ



厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」より

古くから日本には「困ったときはお互いさま」の考え方が根付き、近所同士で助け合ってきました。しかし、人口減少・少子高齢化による担い手の不足や、価値観の多様化などの社会環境の変化により人と人とのつながりが希薄化し、地域で支えあう力は弱まりつつあります。

そこで、地域の課題解決に向けて、住民や多様な団体等が「自分のこと」として役割をもって参加し、分野を超えてつながりながら、地域を共に創っていく「地域共生社会づくり」が求められています。

「買い物しながら高齢者や子どもを「ながら見守り」
玄関や道路に面した部屋の明かりを点灯させて防犯対策
家の前にベンチを置いて
地域の交流の場に」

特別なことではなく、こんな日常の積み重ねも「地域共生社会」の第一歩。



浜田市社協の生活支援コーディネーター

あなたの就職を全力で応援! 「福祉のお仕事」なら 島根県福祉人材センター

福祉のお仕事の説明	就職相談	職場見学・体験	職業紹介	就職支援のイベント
福祉職場での働き方や資格の取り方などご説明します。	介護・福祉、保育職場の就職に向け、専属の相談員が相談に応じます。	気になる職場への見学や体験の調整をします。	紹介状を発行するなど就職のあつせんをします。	福祉職場との相談会、就職イベント、セミナーなど開催します。

ネットでも簡単お仕事をさがし
利用登録・ご相談は
電話・メールでも受付しています。

- 島根県が設置する無料職業相談所。
- 「福祉のお仕事」についてご説明します。
- 登録・相談から紹介状発行まで すべて無料。

※当センターでの就職相談はハローワークでの失業認定に係る求職活動に該当します。

島根県福祉人材センター Tel:0852-32-5957 E-Mail:jinzai@fukushi-shimane.or.jp
島根県福祉人材センター 石見分室 Tel:0855-24-9340 E-Mail:jinzai-iwami@fukushi-shimane.or.jp



読者プレゼント

「障がい福祉事業所」で作られたオリジナル商品プレゼントします。商品の購入ご希望の場合は、各団体の連絡先までお問い合わせください。



5名
社会福祉法人わかば 障がい福祉サービス事業所あじさい 隠岐郡隠岐の島町御町津の津4309-1 TEL 0852-2-5699



5名
社会福祉法人いわみ福祉会 フーズくわの木 江津市二宮町神主2218-1 TEL 0855-52-7185



5名
就労継続支援B型事業所 るびなす 松江市浜乃木6丁目20-20 TEL 0852-69-8394

ゆるく見守りつながり 支え合う 地域に広がる「ゆるくな」のネットワーク

浜田市社会福祉協議会の取り組み

推進役は浜田市社協の生活支援コーディネーター。2015年度の介護保険法改正で創設され、住民ボランティアや地域の活動を把握し、支援が必要な人たちの橋渡し役として高齢者が住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指す「地域包括ケア」のキーパーソンと位置づけられる存在です。

ゆるやかな見守りからつながりへ

現在、取り組んでいるのが「ゆるやかな見守りプロジェクト」です。広報紙やホームページ、手作りのマップ、すごろくゲームを活用して高齢者の異変に気付くポイントを紹介。学校や企業、町内会での福祉学習など幅広い世代に働きかけ、高齢者サロン開設などのサポートもしています。

目指すのは共通認識づくり。生活支援コーディネーターの岡本真奈さん(46)は「高齢者が地域とつながり、困ったときは相談できる相手がいる、周囲の人は高齢者の異変に気付いたら専門機関に連絡できる関係性が地域にあることが大切。ちよとしたことでもいい、自分でもできると思ってもらえるようにお伝えしていきたい」と話します。

企業もまきみ支え合う優しいまちへ

地域の民間企業も得意分野を発揮。仕事で地域を回るJAや三隅ガスセンターは「協力事業所」として高齢者の見守りに取り組んでいます。また、社協のホームページには弁当の配達や買い物支援など高齢者向けの事業者情報をまとめた高齢者お役立ち情報サイト「ちよこプラ」も開設されました。

「行政だけでは限界。住民同士だけでも限界。高齢者の異変に気付く人、地域のことに関心を持つ人を一人でも増やし、ゆるやかな見守りとつながりを広げることが地域のセーフティネットになる」と、地域福祉係長で生活支援コーディネーターの田邨

真紀夫さん(49)。「高齢者は見守られる側にもなるし、登下校の子どもたちを見守る役割も担う。お互いに支え合う優しいまちづくりを進めたい」と、先を見据えます。

大切なのは「ふくしの学び舎」。

このように浜田市社協では、高齢者の見守り活動からスタートしましたが、こうした取り組みは、高齢者だけでなく全世代の全ての人を対象にした支え合いのまちづくりにもつながっています。

県・市町村社協は、幅広い世代での「ふくしの学び舎」により、地域への関心を高め、地域の中の様々な人や資源を循環させ、「支え合う側」と「支えられる側」に分かれない、誰もが役割と生きがいを持つ地域づくりを目指して活動しています。

コロナウイルス感染症が拡大した2020年度に「介護予防コーディネーター」を配置。外出自粛で高齢者の孤立化が問題となるなか、人と人、人と地域をつなぐが絶えないための「ゆるくなプロジェクト」に発展させ、地域での見守りやつながりの取り組みをホームページなどで発信し、支え合いのきっかけづくりにつなげていきます。

「行政だけでは限界。住民同士だけでも限界。高齢者の異変に気付く人、地域のことに関心を持つ人を一人でも増やし、ゆるやかな見守りとつながりを広げることが地域のセーフティネットになる」と、地域福祉係長で生活支援コーディネーターの田邨



手作りのすごろくゲームで見守り活動を学ぶ



くひき学園タウンミーティングで活動を紹介

ふくしするひと、めざすひと。



医療法人徳結会・介護老人保健施設サンホームみずほ(邑南町)勤務
しらし ひろし
白木 洋司さん

介護の仕事を選んだ理由を教えてください。

介護福祉士をしていた母の影響で、子どもの頃から介護の現場は身近でした。小学生の時はデイサービスセンターでおじいさん、おばあさんたちとおしゃべりするのが好きで、自然と福祉の仕事を目指しました。福祉科がある浜田市の明誠高校に進学し、介護福祉士資格を取得して広島の高齢者介護施設に就職、6年勤務しました。同じ浜田市旭町出身の妻と出会ったのもこの職場です。

Uターンのきっかけは?

一度違う仕事を経験したく退職し、配送業の仕事に就きました。が、いったん離れると介護の仕事のやりがいを感じ、「介護の現場に戻りたい」と気付くことができました。妻の出産を控えた一昨年秋、古里で子育てがしたいという思いもあり、島根県広島事務所の移住支援コーディネーターを通じて県福祉人材センター石見分室から希望に沿った複数の求人情報を提供いただき、見学して気に入った今の職場にお世話になることになりました。

現在の生活、お仕事について聞かせてください。

約2年ぶりの介護職場への復帰で、以前とは異なるコロナの影響もあり、職場でも日常生活でも気をつけようことは多いですが、同世代のスタッフも多く、働きやすい環境です。ショートステイを介護を受けられる際のストレスや負担が少しでも軽減できるよう、信頼関係を築くことを心掛けています。昨夏、長男が誕生し、妻の父母と同居して、新しい生活も満喫しています。

今後の目標を教えてください。

現在育児休業中の妻もいずれ福祉の仕事に復帰する予定です。生まれ育った地域の福祉に夫婦一緒に少しでも貢献したいと思っています。

掲載

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
〒690-0011 松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根5階
TEL. 0852-32-5970 FAX. 0852-32-5973
E-Mail shakyo@hukushi-shimane.or.jp

プレゼント応募フォームはコチラから

